

## IV 特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

### 1 概況

令和6年7月に調査した常用労働者数1～4人の事業所の給与、労働時間及び雇用の概況は、次のとおりである。

(1) 一人平均定期給与額（7月分）は181,882円で、前年より390円増となった。

また、特別給与（令和5年8月1日～令和6年7月31日）は239,527円で、前年より7,128円減となった。

(2) 一日の実労働時間は6.9時間で、前年より0.1時間減となった。

また、一人平均出勤日数（7月分）は20.7日で、前年と比べて増減がなかった。

(3) 常用労働者数（7月分）は14,956人で、前年より118人減となった。

表IV-1 令和6年毎月勤労統計調査特別調査結果の概要（事業所規模1～4人）

区分	青森県		全国		水準 (全国=100)
	実数	前年差	実数	前年差	
1 給与					
定期給与	181,882円	390円	209,086円	5,130円	87.0
特別給与	239,527円	△7,128円	273,380円	12,063円	87.6
2 労働時間数及び出勤日数					
一日の労働時間数	6.9時間	△0.1時間	6.9時間	0.1時間	
出勤日数	20.7日	0.0日	19.2日	0.1日	
3 雇用					
労働者数	14,956人	△118人	1,472,097人	△55,240人	

注) ①この特別調査では、指標を基にした前年比を算出していないため、前年差を記載している。

②特別給与は、令和5年8月1日から令和6年7月31日までの1年間に特別に支払われた給与であり、単純に定期給与（令和6年7月分）と合わせて現金給与総額とはならない。

## 2 納入

### (1) 定期給与

定期給与額は、調査産業計では 181,882 円で、前年より 390 円増（国は 209,086 円、前年より 5,130 円増）となった。全国平均を 100 とした場合、全国対比は 87.0 となつた。

産業別にみると、建設業が 246,119 円（全国対比 89.1）と最も高かったほか、次いで医療、福祉が 210,981 円（全国対比 107.8）と高かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が 101,373 円（全国対比 88.6）と最も低かったほか、次いで教育、学習支援業が 110,376 円（全国対比 86.6）と低かった。

### (2) 特別給与

特別給与額は、調査産業計では 239,527 円で、前年より 7,128 円減（国は 273,380 円、前年より 12,063 円増）、全国対比は 87.6 となつた。

産業別にみると学術研究、専門・技術サービス業が 423,279 円（全国対比 99.8）と最も高かったほか、次いで医療、福祉が 389,405 円（全国対比 147.0）と高かった。

また、宿泊業、飲食サービス業が 16,331 円（全国対比 35.6）と最も低かったほか、次いで生活関連サービス業、娯楽業が 30,696 円（全国対比 42.8）と低かった。

表IV-2 納入額の推移(事業所規模1~4人、調査産業計)

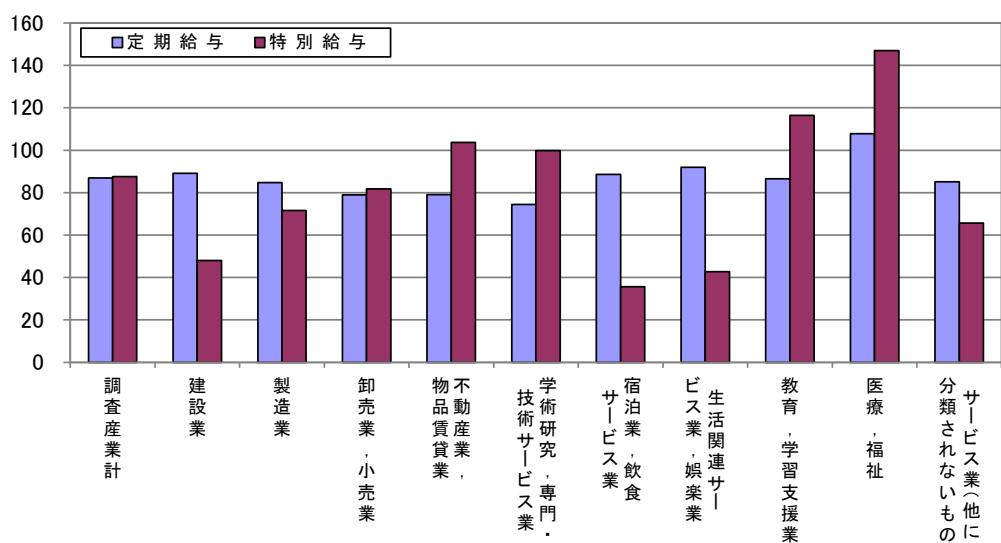
年	定期給与		特別給与		賃金水準(全国=100)	
	青森県	全国	青森県	全国	定期給与	特別給与
平成28年	175,519	195,701	234,497	227,206	89.7	103.2
平成29年	171,679	196,363	185,207	227,457	87.4	81.4
平成30年	168,684	195,476	184,495	235,684	86.3	78.3
令和元年	194,571	197,196	220,700	247,634	98.7	89.1
令和2年	-	-	-	-	-	-
令和3年	198,322	199,902	260,674	253,157	99.2	103.0
令和4年	207,372	203,079	311,832	258,268	102.1	120.7
令和5年	181,492	203,956	246,655	261,317	89.0	94.4
令和6年	181,882	209,086	239,527	273,380	87.0	87.6

注) 令和2年は新型コロナウイルス感染症の拡大により特別調査が中止となった。

表IV-3 産業別給与の比較(事業所規模1~4人)

区分	定期給与		全国 =100	特別給与		全国 =100
	青森県	全国		青森県	全国	
調査産業計	円 181,882	円 209,086	87.0	円 239,527	円 273,380	87.6
建設業	246,119	276,107	89.1	147,525	307,412	48.0
製造業	192,511	227,097	84.8	194,059	271,012	71.6
卸売業, 小売業	170,097	215,240	79.0	232,722	284,392	81.8
不動産業, 物品賃貸業	179,786	227,245	79.1	336,819	324,685	103.7
学術研究, 専門・技術サービス業	180,325	242,305	74.4	423,279	424,165	99.8
宿泊業, 飲食サービス業	101,373	114,472	88.6	16,331	45,895	35.6
生活関連サービス業, 娯楽業	149,332	162,396	92.0	30,696	71,718	42.8
教育, 学習支援業	110,376	127,442	86.6	225,921	194,006	116.5
医療, 福祉	210,981	195,687	107.8	389,405	264,953	147.0
サービス業(他に分類されないもの)	180,670	211,957	85.2	223,250	339,873	65.7

図IV-1 産業別給与の全国対比 (全国=100、事業所規模1~4人)



### (3) 男女別給与

定期給与額は、調査産業計では、男性は229,674円で、前年(230,481円)より807円減となり、女性は149,785円で、前年(144,046円)より5,739円増となった。男性比は65.2で、前年(62.5)から2.7ポイント増となった(全国は男性比55.5で前年(54.1)から1.4ポイント増)。

産業別にみると、男性は、医療, 福祉が275,120円で最も高かったほか、次いで建設業が265,122円と高かった。女性は、医療, 福祉が205,403円(男性比74.7、全国65.5)と最も高かったほか、次いで学術研究, 専門・技術サービス業が181,350円(男性比101.9、全国62.5)と高かった。

また、男性は、宿泊業、飲食サービス業が 133,033 円で最も低かったほか、次いで教育、学習支援業が 138,192 円と低く、女性は、宿泊業、飲食サービス業が 96,830 円（男性比 72.8、全国 48.0）で最も低かったほか、次いで教育、学習支援業が 103,905 円（男性比 75.2、全国 54.0）と低かった。

男性比が最も大きい産業は、学術研究、専門・技術サービス業が 101.9（全国 62.5）で、次いで教育、学習支援業が 75.2（全国 54.0）となった。男性比が最も小さい産業は、建設業が 43.7（全国 55.5）で、次いで製造業が 51.0（全国 53.5）となった。

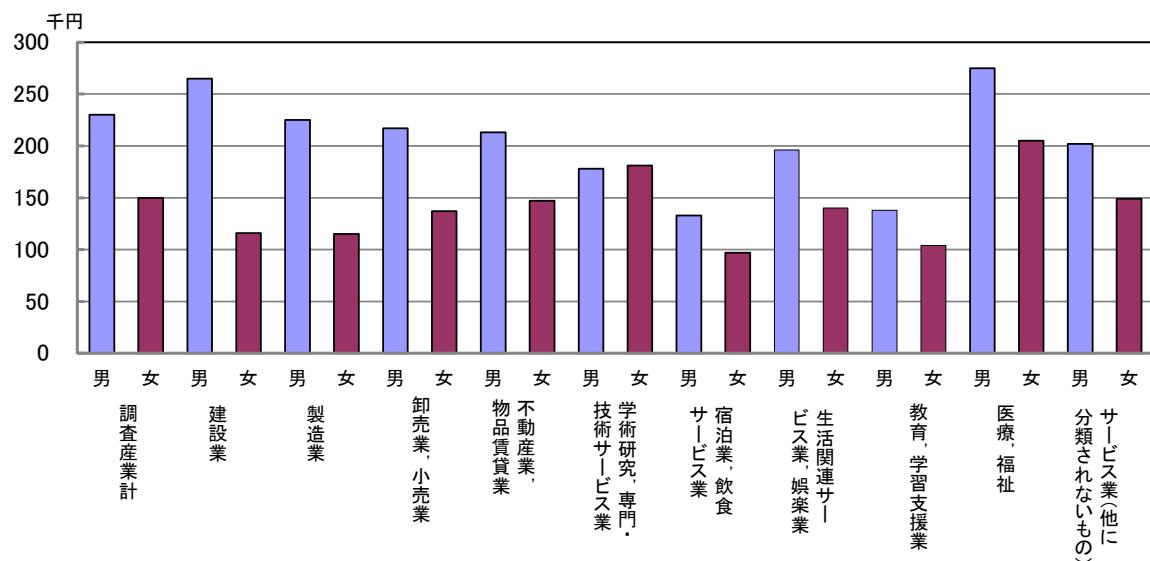
表IV-4 産業別・男女別給与(事業所規模1~4人:青森県)

区分	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
調査産業 計	円 229,674	円 149,785	65.2	円 299,151	円 198,201	66.3
建設業	265,122	115,921	43.7	162,170	42,277	26.1
製造業	224,755	114,737	51.0	233,939	76,670	32.8
卸売業、小売業	216,946	136,839	63.1	323,372	169,753	52.5
不動産業、物品賃貸業	213,429	147,274	69.0	425,060	212,483	50.0
学術研究、専門・技術サービス業	177,916	181,350	101.9	486,824	397,706	81.7
宿泊業、飲食サービス業	133,033	96,830	72.8	-	18,181	-
生活関連サービス業、娯楽業	195,760	140,276	71.7	73,194	23,568	32.2
教育、学習支援業	138,192	103,905	75.2	378,912	182,165	48.1
医療、福祉	275,120	205,403	74.7	628,880	366,847	58.3
サービス業(他に分類されないもの)	201,816	148,782	73.7	261,869	166,965	63.8

表IV-5 産業別・男女別給与(事業所規模1~4人:全国)

区分	定期給与		女性の水準 (男=100)	特別給与		女性の水準 (男=100)
	男	女		男	女	
調査産業 計	円 282,371	円 156,787	55.5	円 394,957	円 184,356	46.7
建設業	312,956	173,617	55.5	347,675	194,014	55.8
製造業	282,505	151,271	53.5	366,260	139,028	38.0
卸売業、小売業	289,212	159,042	55.0	444,167	159,777	36.0
不動産業、物品賃貸業	272,536	183,490	67.3	414,788	235,994	56.9
学術研究、専門・技術サービス業	318,635	199,241	62.5	575,960	338,996	58.9
宿泊業、飲食サービス業	185,971	89,188	48.0	97,522	27,743	28.4
生活関連サービス業、娯楽業	232,417	144,893	62.3	131,931	56,584	42.9
教育、学習支援業	187,618	101,278	54.0	251,956	168,830	67.0
医療、福祉	277,134	181,560	65.5	326,217	254,542	78.0
サービス業(他に分類されないもの)	258,015	157,629	61.1	408,501	258,451	63.3

図IV-2 産業別・男女別定期給与額の比較（事業所規模1～4人：青森県）



### 3 労働時間と出勤日数

#### (1) 労働時間

一日の実労働時間数は、調査産業計では6.9時間、前年より0.1時間減となり、全国の6.9時間と同様となった。

産業別では、建設業が7.5時間（全国7.4時間）と最も長かったほか、次いで製造業と学術研究、専門・技術サービス業が7.4時間（全国は、製造業が7.1時間、学術研究、専門・技術サービス業が7.0時間）と長かった。

また、教育、学習支援業が5.4時間（全国5.5時間）と最も短かったほか、次いで、宿泊業、飲食サービス業が5.6時間（全国5.7時間）と短かった。

#### (2) 出勤日数

出勤日数は、調査産業計では20.7日、前年と比べて増減がなく、全国の19.2日より1.5日多かった。

産業別にみると、建設業が22.5日（全国21.1日）と最も多かったほか、次いで医療、福祉が21.4日（全国18.9日）と多かった。

また、教育、学習支援業が16.0日（全国14.4日）と最も少なかったほか、宿泊業、飲食サービス業が19.4日（全国は16.8日）と少なかった。

表IV-6 実労働時間数及び出勤日数の推移(事業所規模1～4人、調査産業計)

年	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
平成28年	時間 7.1	時間 7.0	時間 0.1	日 21.1	日 20.2	日 0.9
平成29年	7.2	7.0	0.2	21.9	20.1	1.8
平成30年	7.1	7.0	0.1	21.1	19.9	1.2
令和元年	7.0	6.9	0.1	21.2	19.8	1.4
令和2年	-	-	-	-	-	-
令和3年	7.2	6.8	0.4	20.8	19.3	1.5
令和4年	7.3	6.8	0.5	20.5	19.2	1.3
令和5年	7.0	6.8	0.2	20.7	19.1	1.6
令和6年	6.9	6.9	0.0	20.7	19.2	1.5

表IV-7 産業別実労働時間数及び出勤日数の全国対比(事業所規模1～4人)

区分	実労働時間数			出勤日数		
	青森県	全 国	青森-全国	青森県	全 国	青森-全国
調査産業計	時間 6.9	時間 6.9	時間 0.0	日 20.7	日 19.2	日 1.5
建設業	7.5	7.4	0.1	22.5	21.1	1.4
製造業	7.4	7.1	0.3	19.7	19.8	△ 0.1
卸売業、小売業	6.8	7.1	△ 0.3	20.4	19.7	0.7
不動産業、物品賃貸業	7.0	6.9	0.1	20.1	19.0	1.1
学術研究、専門・技術サービス業	7.4	7.0	0.4	20.9	19.4	1.5
宿泊業、飲食サービス業	5.6	5.7	△ 0.1	19.4	16.8	2.6
生活関連サービス業、娯楽業	6.6	6.7	△ 0.1	20.9	18.9	2.0
教育、学習支援業	5.4	5.5	△ 0.1	16.0	14.4	1.6
医療、福祉	7.1	6.6	0.5	21.4	18.9	2.5
サービス業(他に分類されないもの)	7.2	7.0	0.2	21.2	19.9	1.3

#### 4 常用労働者の動き

常用労働者数は、調査産業計では 14,956 人(男 6,009 人、女 8,947 人)で、前年(15,074 人)より 118 人減となった。

産業別では、卸売業、小売業が 3,505 人(全産業に占める割合 23.4%、全国 24.9%)と最も多かったほか、次いでサービス業(他に分類されないもの)が 1,887 人(同 12.6%、全国 8.0%)と多かった。

また、不動産業、物品賃貸業が 432 人(同 2.9%、全国 4.0%)と最も少なかったほか、次いで製造業が 477 人(同 3.2%、全国 7.2%)と少なかった。

男女別構成比をみると、男性の占める割合が最も高い産業は、建設業が 87.3% (全国 73.6%) で、次いで製造業が 70.6% (全国 57.8%) と高かった。

また、女性の占める割合が最も高い産業は、医療、福祉が 92.0% (全国 85.2%) で、次いで宿泊業、飲食サービス業が 87.5% (全国 73.9%) と高かった。

表IV-8 常用労働者数の推移(事業所規模1~4人:青森県)

区分	平成27年	28年	29年	30年	令和元年	2年	3年	4年	5年	6年
常用労働者数(人)	23,402	22,725	18,939	19,794	16,052	—	17,183	15,084	15,074	14,956
対前年増減数(人)	△ 373	△ 677	△ 3,786	855	△ 3,742	—	—	△ 2,099	△ 10	△ 118
対前年増減率(%)	△ 1.6	△ 2.9	△ 16.7	4.5	△ 18.9	—	—	△ 12.2	△ 0.1	△ 0.8

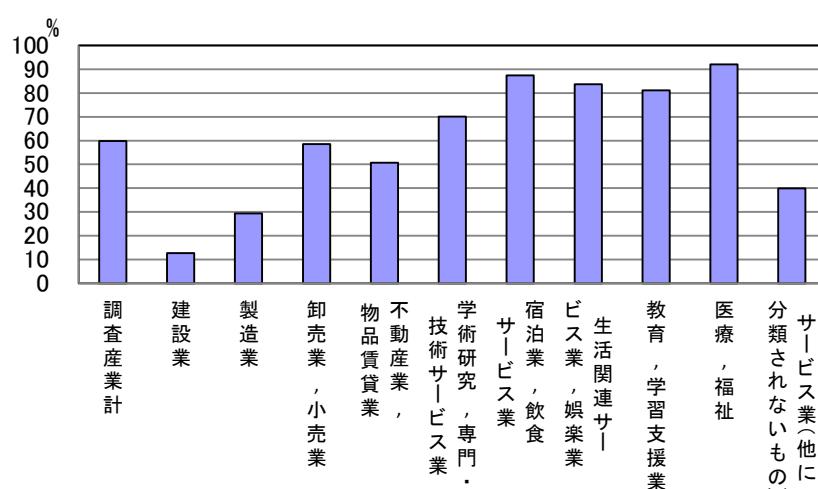
表IV-9 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1~4人:青森県)

区分	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	14,956	6,009	8,947	100.0	100.0	100.0	40.2	59.8
建設業	1,808	1,578	230	12.1	26.3	2.6	87.3	12.7
製造業	477	337	140	3.2	5.6	1.6	70.6	29.4
卸売業, 小売業	3,505	1,455	2,050	23.4	24.2	22.9	41.5	58.5
不動産業, 物品賃貸業	432	212	219	2.9	3.5	2.4	49.1	50.7
学術研究, 専門・技術サービス業	911	272	639	6.1	4.5	7.1	29.9	70.1
宿泊業, 飲食サービス業	1,390	174	1,216	9.3	2.9	13.6	12.5	87.5
生活関連サービス業, 娯楽業	1,693	276	1,417	11.3	4.6	15.8	16.3	83.7
教育, 学習支援業	580	110	471	3.9	1.8	5.3	19.0	81.2
医療, 福祉	1,553	124	1,429	10.4	2.1	16.0	8.0	92.0
サービス業(他に分類されないもの)	1,887	1,135	753	12.6	18.9	8.4	60.1	39.9

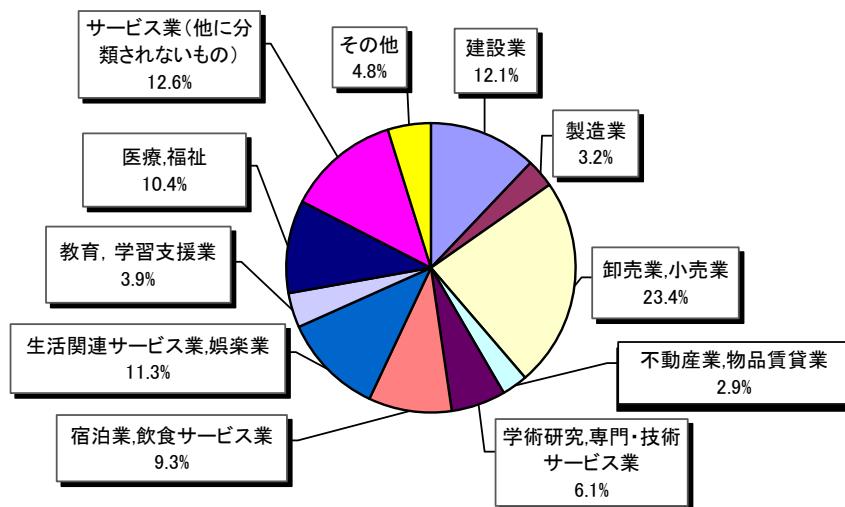
表IV-10 産業別・男女別常用労働者数及び産業別・男女別構成比(事業所規模1~4人:全国)

区分	常用労働者数(人)			産業別構成比(%)			男女別構成比(%)	
	総数	男	女	総数	男	女	男	女
調査産業計	1,472,097	613,048	859,049	100.0	100.0	100.0	41.6	58.4
建設業	174,518	128,366	46,152	11.9	20.9	5.4	73.6	26.4
製造業	106,464	61,514	44,949	7.2	10.0	5.2	57.8	42.2
卸売業, 小売業	366,080	158,046	208,034	24.9	25.8	24.2	43.2	56.8
不動産業, 物品賃貸業	59,049	29,015	30,034	4.0	4.7	3.5	49.1	50.9
学術研究, 専門・技術サービス業	93,422	33,696	59,725	6.3	5.5	7.0	36.1	63.9
宿泊業, 飲食サービス業	133,045	34,758	98,288	9.0	5.7	11.4	26.1	73.9
生活関連サービス業, 娯楽業	140,475	28,092	112,384	9.5	4.6	13.1	20.0	80.0
教育, 学習支援業	51,225	15,523	35,702	3.5	2.5	4.2	30.3	69.7
医療, 福祉	155,257	22,949	132,308	10.5	3.7	15.4	14.8	85.2
サービス業(他に分類されないもの)	117,345	63,507	53,839	8.0	10.4	6.3	54.1	45.9

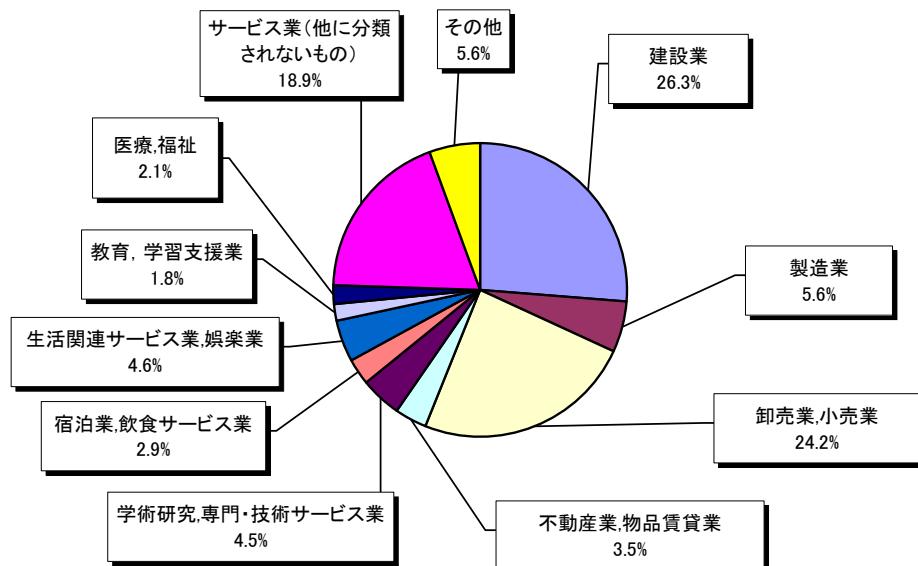
図IV-3 常用労働者の産業別女性の割合(事業所規模1~4人:青森県)



図IV-4 常用労働者の産業別構成比（総数）（事業所規模 1～4 人：青森県）



図IV-5 常用労働者の産業別構成比（男）（事業所規模 1～4 人：青森県）



図IV-6 常用労働者の産業別構成比（女）（事業所規模 1～4 人：青森県）

